

「情報公開文書」

単施設研究用

研究課題名：ロボット支援下右肺癌手術における気管分岐下リンパ節郭清の工夫

1. 研究の対象

2022 年 4 月から 2024 年 12 月にロボット支援下右肺癌手術で気管分岐下リンパ節郭清を受けた方

2. 研究目的・方法

【目的】

ロボット支援下手術は拡大視と操作性の良い鉗子により精度の高い手術が可能である。一般に気管分岐下リンパ節（以下#7LN）郭清を完遂する場合は対側気管支確認を含めた視野展開が必須である。一方、ロボットアーム同士の干渉や助手のアシストが制限されることで、特に#7LN 郭清の際は視野確保に難渋する場面もあり手技の工夫が必要である。当科では右肺癌の#7 リンパ節郭清時に下肺静脈の上縁に綿テープをトンネリング、助手アシスト孔から胸腔外へ誘導後、気管支を腹側へ牽引し十分な視野展開のもと#7LN 郭清を行っている。この気管支牽引法が従来の#7 リンパ節郭清法と比較して有効な手技なのかどうかを比較検討する。

【方法】

2022 年 4 月から 2024 年 12 月にロボット支援下右肺癌手術で#7LN 郭清した 21 例を対象に綿テープによる気管支牽引群 8 例、非牽引群 13 例の#7LN 郭清手技を比較検討する。年齢、切除肺葉、手術時間、出血量、郭清した#7 リンパ節の個数、#7 リンパ節郭清手技に要した時間、術中トラブルの有無、術後ドレナージ期間、術後合併症の有無を比較する。

3. 研究期間

（倫理審査委員会承認日）～ 2026 年 12 月 31 日

4. 研究開始の予定日（研究のために情報を利用開始する予定日）

2025 年 2 月 24 日

5. 研究に用いる試料・情報の項目

情報：病歴、年齢、切除肺葉、手術時間、出血量、術中トラブルの有無、術後ドレナージ期間、#7 リンパ節郭清個数、#7 リンパ節郭清に要した時間、術中トラブルの有無、術後合併症の有無、術後採血結果、カルテ番号、生年月日、等

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

宮城県立がんセンター治験・臨床研究管理室 倫理審査委員会担当
〒981 - 1293 宮城県名取市愛島塩手字野田山 47 の 1
TEL 022-384-3151（代表）（内線 974）

研究責任者：

宮城県立がんセンター呼吸器外科 矢吹 皓